

花のまつり 2011

11月11日(金)・12日(土)・13日(日) 倉吉未来中心

目的 花の生産者から一般消費者に至るまで、幅広い範囲を対象とした総合イベントとして、生産者の技術向上・栽培意欲の高揚を図るとともに、県民の花と緑に対する関心を高めることを目的に毎年開催する。

主催 鳥取県花き振興協議会

後援 鳥取県、鳥取県議会、鳥取県市長会、鳥取県町村会、鳥取県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会鳥取県本部、(株)鳥取花市場、(株)倉吉花き市場、(株)東亜青果、鳥取生花商園芸組合、倉吉花商組合、米子花商協同組合、とっとり花回廊

協賛 天野種苗店、大塚アグリテクノ(株)、白木屋種苗(株)、サカタのタネ(株)、シンジェンタジャパン(株)、タキイ種苗(株)、田口種苗園(有)、(有)谷本種苗園芸、(株)中国種苗、フジ日本精糖(株)、みのる産業(株)、(株)ムラカミシード、(株)森下商事、(株)ランドサイエンス



第41回鳥取県花き品評会
(受賞作品の一部の紹介)



左：農林水産大臣賞 遠藤達也(伯耆町) パンジー
 中央：農林水産省生産局長賞 神庭賢暁(伯耆町) ストック
 右上：中国四国農政局長賞 圓岡誉博(大山町) ツルウメモドキ
 右下：鳥取県知事賞 岩下稔(米子市) キク

出品品目	出品数
キク	12
バラ・カーネーション	16
宿根草・球根類	10
1・2年草	31
枝物類	23
鉢物・花壇苗	42
合計	134

審査経過

11月11日午後1時から2時まで、審査会場において審査員(14名)により、第41回鳥取県花き品評会審査要領に基づき、出品された134点の花きを慎重に審査した。

審査風景(11月11日)



第14回フラワーデザイン協議会
(受賞作品の一部の紹介)



左：プロ部門 鳥取県知事賞

鷲原哲也 (ザ・グリーンハウス)

中央：一般部門 鳥取県知事賞 生本礼子

右：高校生部門 鳥取県知事賞 高橋萌 (日野高校)

審査経過

部門	出品数
プロ部門	32
一般部門	8
高校生部門	14
合計	54

11月11日、第14回鳥取県フラワーデザイン競技会審査要領第1の審査基準により、その内容を審査した。各部門とも年々技術レベルが高くなっており、テーマ性豊かな仕上がりとなっている。

特に、一般・高校生部門は既成概念にとらわれず、自由な発想の作品が来場者の人気投票でも好評を得ていた。

審査風景 (11月11日)



下段左写真：12、13日には来場者によるアレンジメント作品の人気投票が行われた。

来場者人気第1位

プロ部門 高田真紀子 (あげたけ)

園芸教室

寄せ植え教室 (講師: 花夢(カム)園芸)

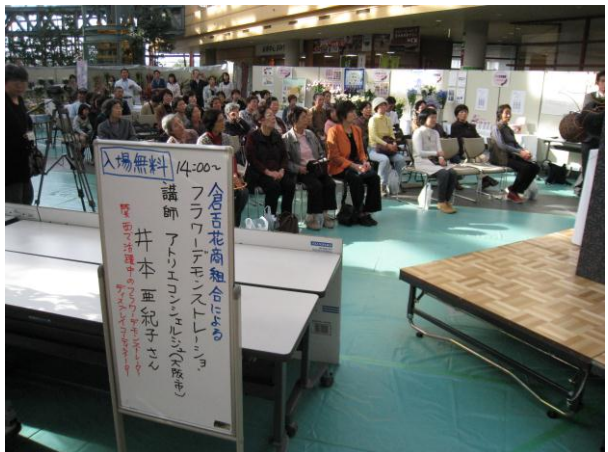


押し花を使った小物づくり (講師: 梨の花グループ)



フラワーデモンストレーション

関西で活躍中のフラワーデモンストレーター井本亜紀子氏を講師に迎え、フラワーアレンジメントを作成していただきながら、花のデザインについてわかりやすく講演いただいた。



フラワーアレンジ講習会（講師：公益社団法人日本フラワーデザイナー協会）



花にまつわる川柳



【最優秀賞】

豪雪の重さに耐えた沈丁花 矢畑哲也

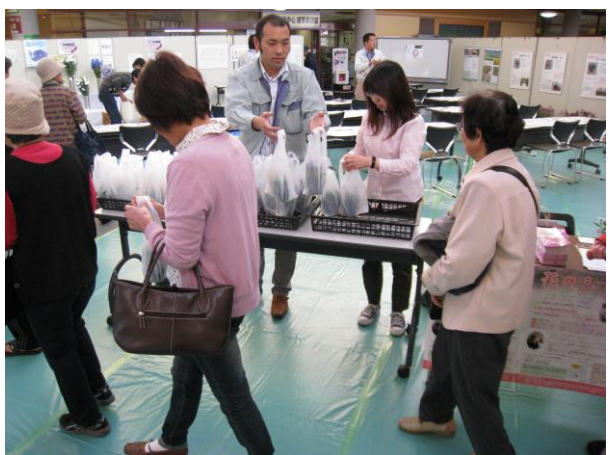
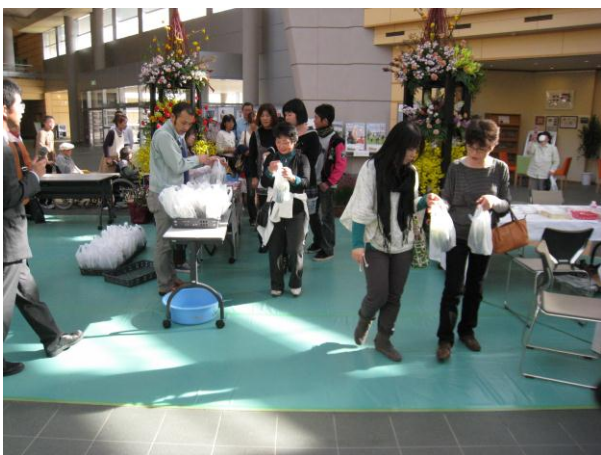
【優秀賞】

散歩道名もない花の応援歌 福原たかし

踏まれてもタンポポは咲く通学路 黒田けい子

来場者プレゼント 県産花壇苗の無料配布

県内産の花壇苗（ビオラ）を来場者（先着100名）にプレゼントした。



フラワーオークション・展示品即売会

鳥取県花き振興協議会 倉吉花き市場による
展示品のオークション。



園芸資材・用品等の展示

協賛各社による新製品と花の新品種の参考出展



中国種苗



フジ日本精糖



大塚アグリテクノ



ムラカミシード